

講義科目名称： 看護研究法

授業コード： 2230600100

英文科目名称： Nursing Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	1単位	必修
担当教員			
◎樺澤三奈子、◎関睦美、◎東條紀子、前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 通年 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>◎樺澤 三奈子</td> <td>318</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎関 睦美</td> <td>301</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎東條 紀子</td> <td>308</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前川 絵里子</td> <td>307</td> <td></td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	◎樺澤 三奈子	318		◎関 睦美	301		◎東條 紀子	308		前川 絵里子	307	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】														
◎樺澤 三奈子	318															
◎関 睦美	301															
◎東條 紀子	308															
前川 絵里子	307															

到達目標	看護研究に関する基本的な知識，研究方法について理解する。
------	------------------------------

授業概要	看護研究を行う際の基礎となる研究プロセスを学ぶ。文献の検討，データ収集・分析の方法，研究の倫理的配慮，研究計画書の書き方，論文のまとめ方および研究発表の方法を系統的に学ぶ。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護実践と研究 学習内容：看護研究とは何か 看護専門職にとっての看護研究の意義と目的 研究のプロセス 備考：樺澤</p> <p>2-3 授業内容 授業形態：講義と演習 学習課題：文献検索方法 学習内容：①文献の種類 文献の探し方 文献情報の保存方法 ②オンラインデータベースを用いた検索方法 備考：関 図書館司書</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義と演習 学習課題：研究デザイン・文献検討 学習内容：学術文献の構成要素と読み方 文献リストの作り方 文献クリティークの方法 備考：樺澤 東條</p> <p>5 授業内容 授業形態：講義 学習課題：質的研究法 学習内容：質的研究のデータ収集と分析方法 質的文献のクリティーク 備考：東條</p> <p>6 授業内容 授業形態：講義 学習課題：量的研究法 学習内容：量的研究のデータ収集と分析方法 量的研究のクリティーク 備考：関</p> <p>7 授業内容 授業形態：講義 学習課題：研究計画書の作成、看護研究における倫理、研究論文の作成 学習内容：研究計画書の構成、研究倫理と倫理的配慮、研究の公表（論文執筆と発表） 備考：樺澤</p> <p>8 授業内容 授業形態：演習 学習課題：研究計画書の作成 学習内容：研究計画の検討とグループワーク 備考：樺澤 関 東條 前川</p>
------	--

事前・事後学習	<p>【事前学習】 各回において、学習内容に該当する必携図書（テキスト）の章・内容を読んで参加する。また到達目標を達成するために、授業内容に関連する課題に取り組む。</p> <p>【事後学習】 必携図書（テキスト）や配布資料等をもとに、理解が不十分であった内容について復習する。また授業内容をもとに学びを深めることを目的とする課題に取り組む。</p>
評価方法、評価基準	<p>レポート課題（80%） グループワーク課題：看護研究計画の検討（20%）</p>
必携図書	黒田裕子：黒田裕子の看護研究Step by Step, 第6版, 医学書院
参考図書・資料等	追加資料等を講義の際に配布する。参考資料については適宜提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	<p>授業開始から20分を超える遅刻は欠席とみなす。 全授業の3分の2以上を出席した学生を評価対象とする。 欠席の場合は、当該授業の担当教員に事前にメールで連絡する。</p>
教員からのメッセージ	<p>看護実践の質向上をめざすために、看護研究論文の読み方、考え方をすることは有意義なことです。また大学卒業後に、臨地・臨床において看護研究に携わるとき、大いに役立ちます。まずは自分の興味関心から、探求したい課題を決めてください。そして主体的に講義・演習に取り組み、先行文献を探索し、自分の看護研究のデザイン、方法、倫理的配慮を含めた研究計画を熟考してみましょう。 研究計画は4年次の専門ゼミナールⅠで具体的に検討していきます（専門ゼミナールⅠは看護研究計画の作成、専門ゼミナールⅡは看護研究の成果をまとめ、発表する）。</p>
オフィスアワー	